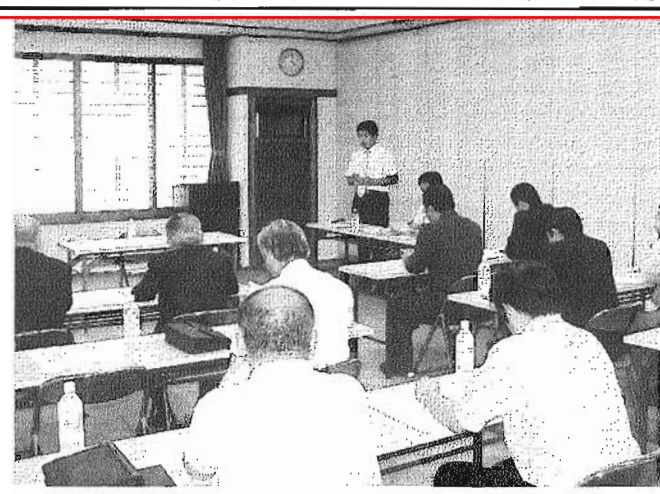
南さつまリサイクル協組設立総会

初代理事長に上東氏

南さつまリサイクル協同組合の設立総会が5日、南さつま市加世田のKプラザで行われ、初代理事長に上東信義氏が就任した。



健全な循環社会の構築を目的に開かれた設立総会＝南さつま市加世田のKプラザで

上東 信義理事長

これは、年々増え続ける違法・不法処理や投棄を、抑止することにより、リサイクル業の健全な発展と社会的地位の向上へとつなげると同時に、地域社会と一体となった健全な循環型社会の構築を目的に、管内でリサイクル業を営む関係業者ら11社で結成した。

冒頭、発起人である桑畑昭三氏（桑畑建設㈱社長）が「一向に減らない違法業者などによる不法投棄問題などに対し、バージン材との両立を図るための適正供給や、共同販売・購入の統一化など、地域が抱える問題は地域に専従するわれわれの力で改善していかねばならない。地域の循環型社会の創出に向けて互いに英知を結集して一致団結していこう」と挨拶。続いて、来賓の沖田健一専務理事が「同組合の創立を、心から喜びたい」と祝辞を述べた後、上東氏を議長に選出して議事に入った。

議事は、同組合の総則をはじめ、事業方針、組合員定義などの定款制定についてのほか、18年度の収支予算案ならびに①共同受注に関する事業②共同販売に関する事業③団体協約の締結に関する事業④教育および情報の提供に関する事業⑤福利厚生に関する事業－などを柱とする事業計画案を採択した。

初代理事長に就任した上東氏は「この豊かな地域環境を守り、次の世代に残していくためには、われわれがしっかりとスクラムを組み、互いに知恵を出し合いながら行政や地域住民に理解してもらえる組織にしていきたい」と抱負を語った。

役員、会員は次の通り。

【役員】理事長＝上東信義▽専務理事＝桑畑昭三▽理事＝豊留道則㈱豊留建設）東垂水勝秀（西南運送㈱）▽監事＝森信秀（日之出産産業㈲）

【会員】㈱大坪建設　宝砕石工業㈱　茅野産業㈱　㈱日新運輸　㈱豊留建設　㈱中﨑砕石　日之出産業㈲　桑畑建設㈱　㈱森組　㈱ガイアテック　西南運送㈱

県建設業協会 曽於支部がＩＴ講習会

60人が電子納品学ぶ

県建設業協会曽於支部（有川順一郎支部長）は建設CALS／ECに対し、昨年度から取り組んでいる「人材確保推進事業」の一環として曽於建設会館で6日、IT講習会（電子納品ガイドライン）を開いた。約60人が参加して電子納品等について学んだ。

真剣な表情で講習に臨む参加者＝曽於建設会館で

「人材確保推進事業」は、雇用・能力開発機構が良好な雇用の場を確保し、経営基盤の強化となる人材の育成を図るため設置され、今回のセミナーの内容は、電子納品について学習した。今後は、建設CALS／EC（電子入札・電子納品）と企業内情報の電子化・共有技術を習得するコースを計画している。

講習会の冒頭、阿多口守事務局長が「19年度に県が導入する大切な講習会です。本年度は、CADまで含め4回実施したいと思います」と挨拶。講師の田中俊顕氏㈱インターウェーブ熊本支店ドブックを使い丁寧な講習を行った。

今別府産業・英友会安全大会

無事故無災害誓う

今別府産業㈱（今別府英樹社長）と英友会（柳

児島市のオロシティーにやまで18年度安全大会を開き、関係者約150人が出席して無事故無災害を誓い合った。

冒頭、年間安全スローガン優秀作品の3人を表彰した後、今別府社長が「安全は意識し、行動しなければならない。労働災害、交通災害、心身の健康も含めて、何か発生すれば会社全体の問題となる。大会を通してさまざまな意味から安全について考える1日にしよう」と挨拶。

次いで、柳生会長（有）

一人ひとりが安全意識を高めて、会社の繁栄、家族の幸せのため、無災害へ頑張ってほしい」、総括安全衛生管理者の池元清二専務が「労災防止は企業の最優先課題。社員、協力会が一体となって仕事に取り組み、労災、交通事故の絶無にまい進しよう」と呼び掛

安全の大切さを学ぶ出席者＝鹿

このあと、鹿児島南警察署交通課長の木下秋生警部が「交通安全」、高岡病院の福永秀智院長補佐が「生活習慣病とCOPD」、堂下労働安全コンサルタントの堂下等氏が「リスクアセスメント手法と労働災害防止対策」と題し講演。

最後に社員代表の前野伸二氏が大会宣言、運転者代表の上原高徳氏が交通安全宣言を行った。

表彰者は次の通り。

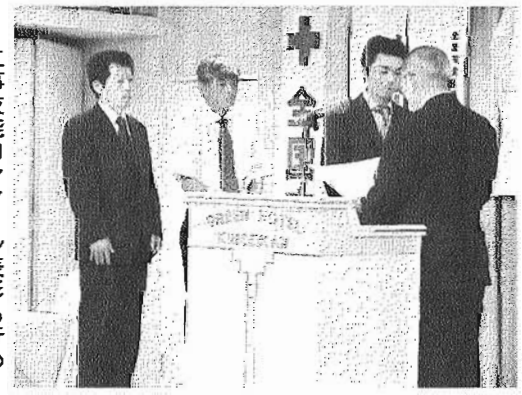
有村耕一（土木道路事業部）仲聡美（住環境事業部）新原安博（工務部）

ガス工事安全委員会年次大会

労災撲滅に意識高揚

日本ガス

日本ガス㈱（中間兼市社長）は6日、鹿児島市のグリーンホテル錦生館で18年度ガス工事安全委員会年次大会を開き、社員や協力業者ら約65人が出席し、今年1年間の労働災害撲滅に向けた安全衛生意識を高めた。



工事技能コンクール表彰も行われた年次大会＝鹿児島市のグリーンホテル錦生館で

冒頭、中間社長が「労使が一丸となり、事故を起こさないという職場、組織風土を作ることが大事。会員相互の連携で無事故無災害を推進していこう」と挨拶した。

続いて、作業環境測定林測定事業所の林和幸所長が「ガスの世界」を演題に講演。参加者らは粉じんなどのない快適な作業場環境の大切さを学んだ。その後、ガス工事技能コンクール表彰、改善提案表彰などが行われた。

表彰者は次の通り。

【本管工事の部】特選＝日本ガスプランテック㈱・川村組▽入選＝明大工業㈱・森重組

【装置工事の部・A部門】特選＝日本ガスプランテック・㈱永山組▽入選＝㈱田上設備工業・坂元組　㈱中央総業・富田組

【装置工事の部・B部門】入選＝㈱田上設備工業・池田組　㈱中央総業・濱田組　日本ガスプランテック㈱・栄組

【団体の部】1位＝日本ガスプランテック㈱▽2位＝㈱田上設備工業▽3位＝㈱中央総業

薩摩川内市峰山地区コミュニティ協議会

定住促進 新幹線利用者にPR

薩摩川内市高江町の峰山地区コミュニティ協議会（徳田勝章会長）の会員約50人と田中良二同市企画政策部長はじめ職員は3日、JR川内駅新幹線改札口で「食料・農業の田園文化ゾーン高江町（峰山地区）に住まいをどうぞ、お待ちしております」のチラシと「定住促進補助金制度」のパンフを乗降客らに配った。

通勤客にチラシを配布する会員＝JR川内駅新幹線改札口で

平成12年、1市4町4村の広域合併で誕生した同市。合併当初10万500人の人口が現在、10万3400人余り。合併当初時に比べ2000人近くが減少、市外に流出した。さらに他地区と同様、少子・高齢化が拍車をかける。

この状況を打開しようと会員らが立ち上がり、同地区「500戸定住促進キャンペーン」を展開。今回はその一環で実施した。既に同地区内の売地情報を発信。また地元建築会社は田園文化ゾーンの同地にふさわしいモデル住宅も準備した。

田中部長は「地区の人たちが自前で売り地や受け入れのための具体的な準備をされている。この活動をモデルに全市的な運動に広げていきたいですね」と話した。市では3日、課長級以上で「定住促進部会」を発足させ、また若手職員は「街づくり研究会」を立ち上げ初の合同会議を開いた。いよいよ定住促進と人口増加のための活動に本腰を入れる。

詳しくは同協議会（☎0996・27・2157）徳田会長か市企画政策課（☎0996・23